

松浦川の支川厳木川の上流にある厳木ダム（所在地：唐津市厳木町広瀬）の現場をレポートします。（厳木ダムの詳しい情報はホームページへアクセスください）

— ダム堤体内観測を実施しています —

ダムは大雨による洪水が発生した場合、洪水の一部をダムに貯留し下流への流量を低減させる洪水調節を行います。そのため、ダムは大雨に備えて常に安全で万全の状態を保つ必要があり、ダムに異常がないか調べるための観測を行っています。

（ダム堤体内の監査廊と主な観測計器）



監査廊（かんさろう）



揚圧力計（ようあつりょくけい）



漏水量計（ろうすいりょくけい）



地震計（じしんけい）

観測は管理支所の職員とダム管理支援業務の委託業者により定期的（月 1 回）に実施し、監査廊内に設置している観測機器の数値に異常がないかの確認や、漏水量やたわみ計の計測を行っています。

最近では、7月25日に観測を実施しました。その結果、観測した値にこれまでと大きな差異はなく、異常はありませんでした。

ダム完成から25年経過した現在でも、ダムの安全性はしっかり保たれています。

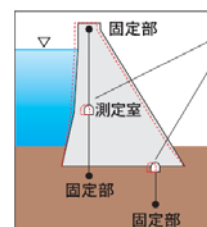


観測業者：(社)九州地方計画協会



（現場からのコメント）

約半日をかけて揚圧力計50箇所、漏水量計135箇所、たわみ計の観測を行っています。ダムは絶対に安全でなければなりませんので、ダム管理の仕事のなかでは最も重要な作業だと思っています。これからも適切な観測に努めていきます。



※たわみ計
ダムの中に垂直に設置したワイヤーの動きを専用の計測器（たわみ計）で調べることで、ダム堤体が動いていないかを確認する（左図参照）

（今回の現場レポート担当者）



武雄河川事務所 厳木ダム管理支所 青木・緒方・亀山

電話 0955-63-2500 FAX 0955-63-2512

厳木ダムホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/>